

V. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果(抜粋)

1. 調査概要

(1) 調査目的

本調査は、令和 9 年度から令和 11 年度までの「第 10 期益田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を把握することを目的として実施した。

(2) 調査の実施について

対象者	令和 7 年 9 月 1 日現在、益田市にお住まいの 65 歳以上の方 (要介護 1～5 の方を除く)から無作為抽出した 1,600 人
実施期間	令和 7 年 11 月 3 日(月)～令和 7 年 11 月 28 日(金)
実施方法	郵送配布、郵送回収

(3) 有効回答件数及び回答率

配布数	回収数	有効回答数	有効回答率
1,600 件	1,179 件	1,179 件	73.7%

※発送日時点で転出・死亡等を除いた方に配布しています。

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が 100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中に MA(Multiple Answer = いくつでも)、3LA(3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

2. 回答者の属性

単位：上段（人）／下段（％）

	全 体	中 部	東 部	西 部	美 都	匹 見
全 体	1179	294	307	292	140	146
	100.0	24.9	26.0	24.8	11.9	12.4

性別

男性	564	141	154	133	68	68
	100.0	25.0	27.3	23.6	12.1	12.1
女性	615	153	153	159	72	78
	100.0	24.9	24.9	25.9	11.7	12.7

年齢

65～69歳	259	58	68	63	37	33
	100.0	22.4	26.3	24.3	14.3	12.7
70～74歳	267	67	77	69	28	26
	100.0	25.1	28.8	25.8	10.5	9.7
75～79歳	249	68	61	62	26	32
	100.0	27.3	24.5	24.9	10.4	12.9
80～84歳	240	60	62	58	29	31
	100.0	25.0	25.8	24.2	12.1	12.9
85歳以上	164	41	39	40	20	24
	100.0	25.0	23.8	24.4	12.2	14.6

性・年齢

男性 前期高齢者	255	58	82	59	29	27
	100.0	22.7	32.2	23.1	11.4	10.6
後期高齢者	309	83	72	74	39	41
	100.0	26.9	23.3	23.9	12.6	13.3
女性 前期高齢者	271	67	63	73	36	32
	100.0	24.7	23.2	26.9	13.3	11.8
後期高齢者	344	86	90	86	36	46
	100.0	25.0	26.2	25.0	10.5	13.4

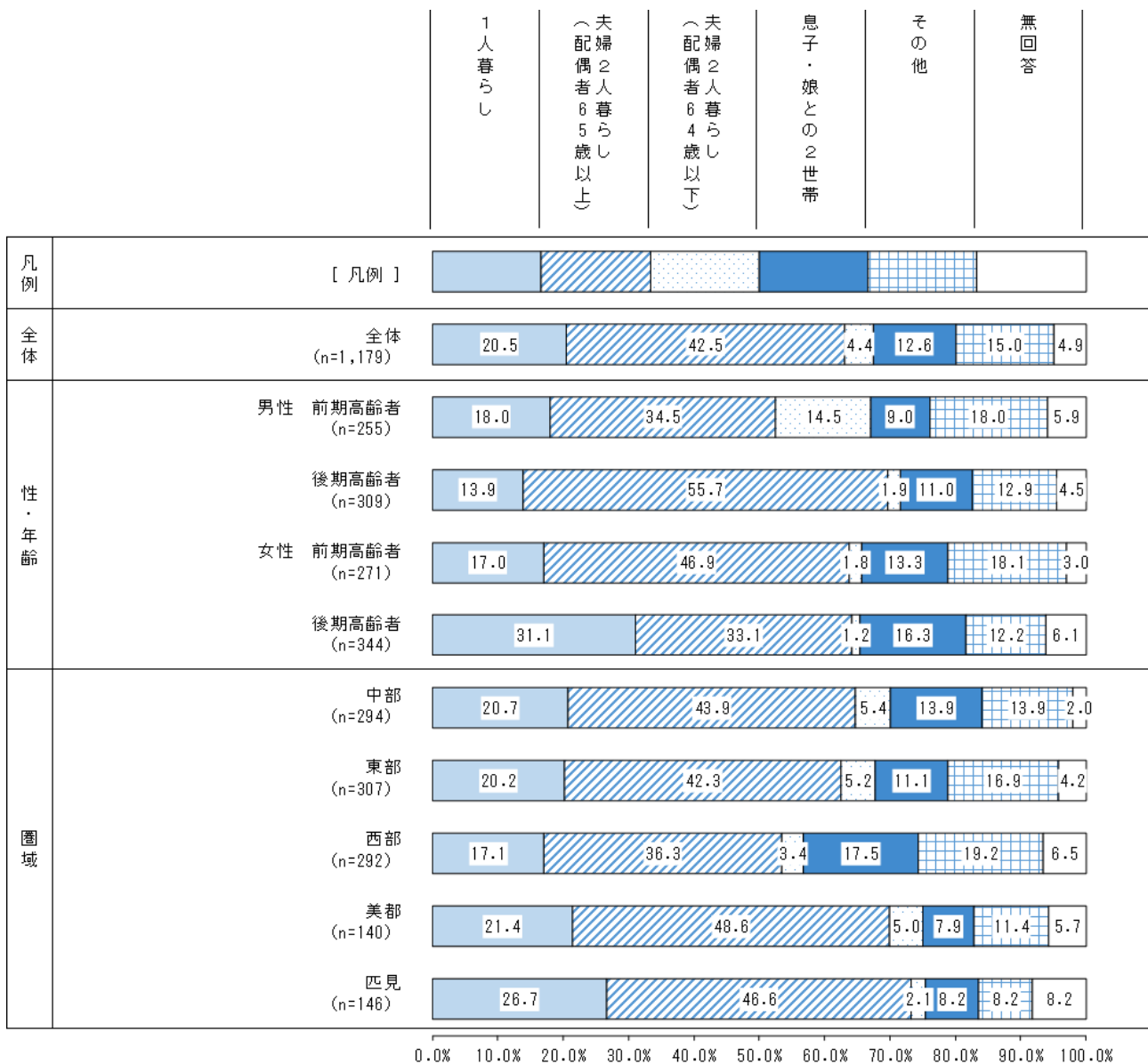
●問 1(1) 家族構成をお教えてください。(1つだけ○)

【全体】
 ○ 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 42.5%で最も多く、次いで「1人暮らし」が 20.5%、「その他」が 15.0%となっています。

【性・年齢】
 ○ 「1人暮らし」は女性 後期高齢者が 31.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】
 ○ 「1人暮らし」は匹見が 26.7%と他の区分に比べて多くなっています

【家族構成】



3. 主な調査結果

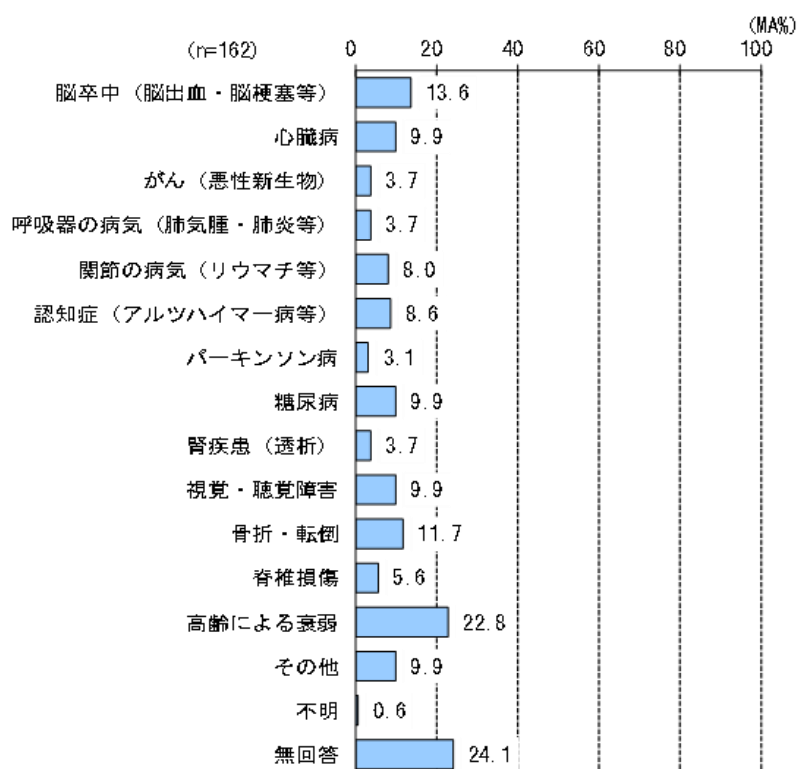
(1) 介護・介助が必要になった原因

●問 1(2)① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が 22.8%で最も多く、次いで「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が 13.6%、「骨折・転倒」が 11.7%となっています。

【介護・介助が必要になった主な原因】



(2) 機能低下リスク(支援の必要度)

◆運動器の機能低下リスク

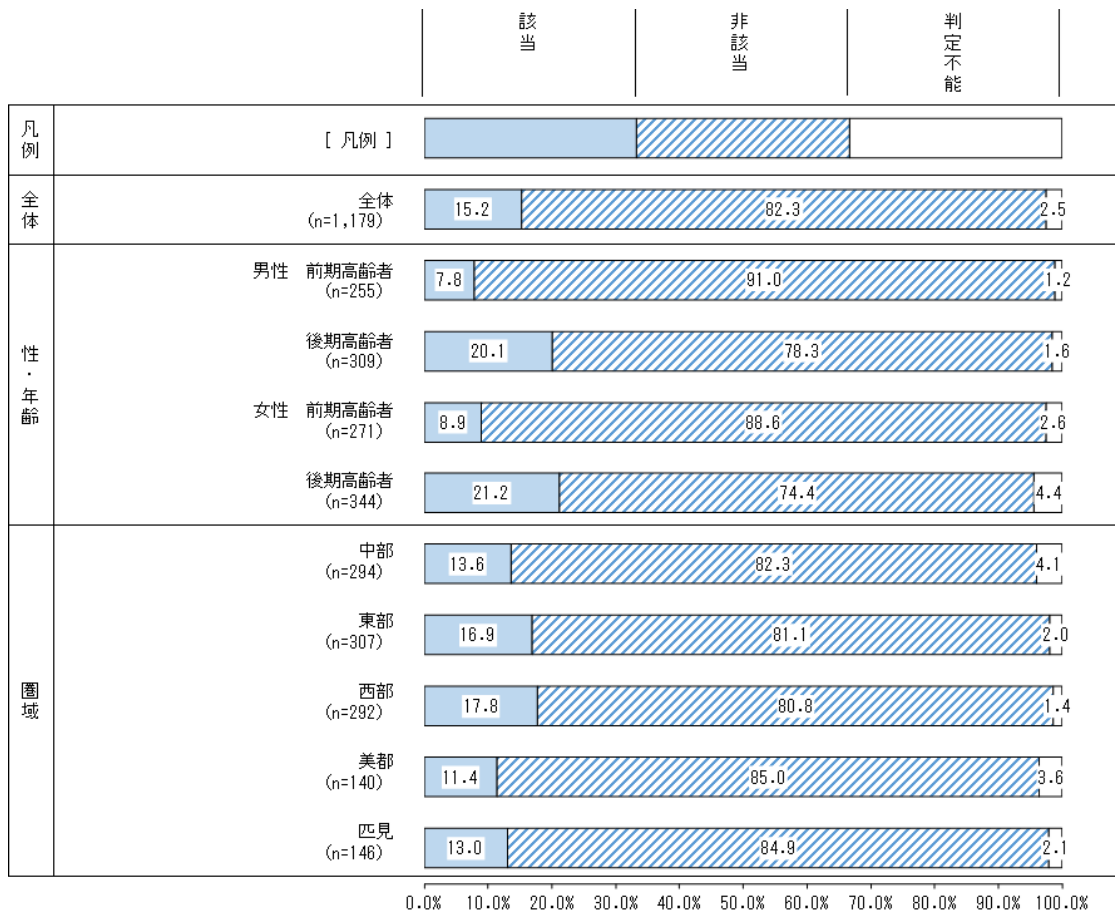
●運動器の機能低下リスクの判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である／ やや不安である

【全体】
○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が15.2%、「非該当」が82.3%となっています。
【性・年齢】
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。
【圏域】
○ 「該当」は東部が16.9%、西部が17.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【運動器の機能低下リスク】



◆転倒リスク

●転倒リスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

【全体】

○ 転倒リスクについて、「該当」が30.8%、「非該当」が67.3%となっています。

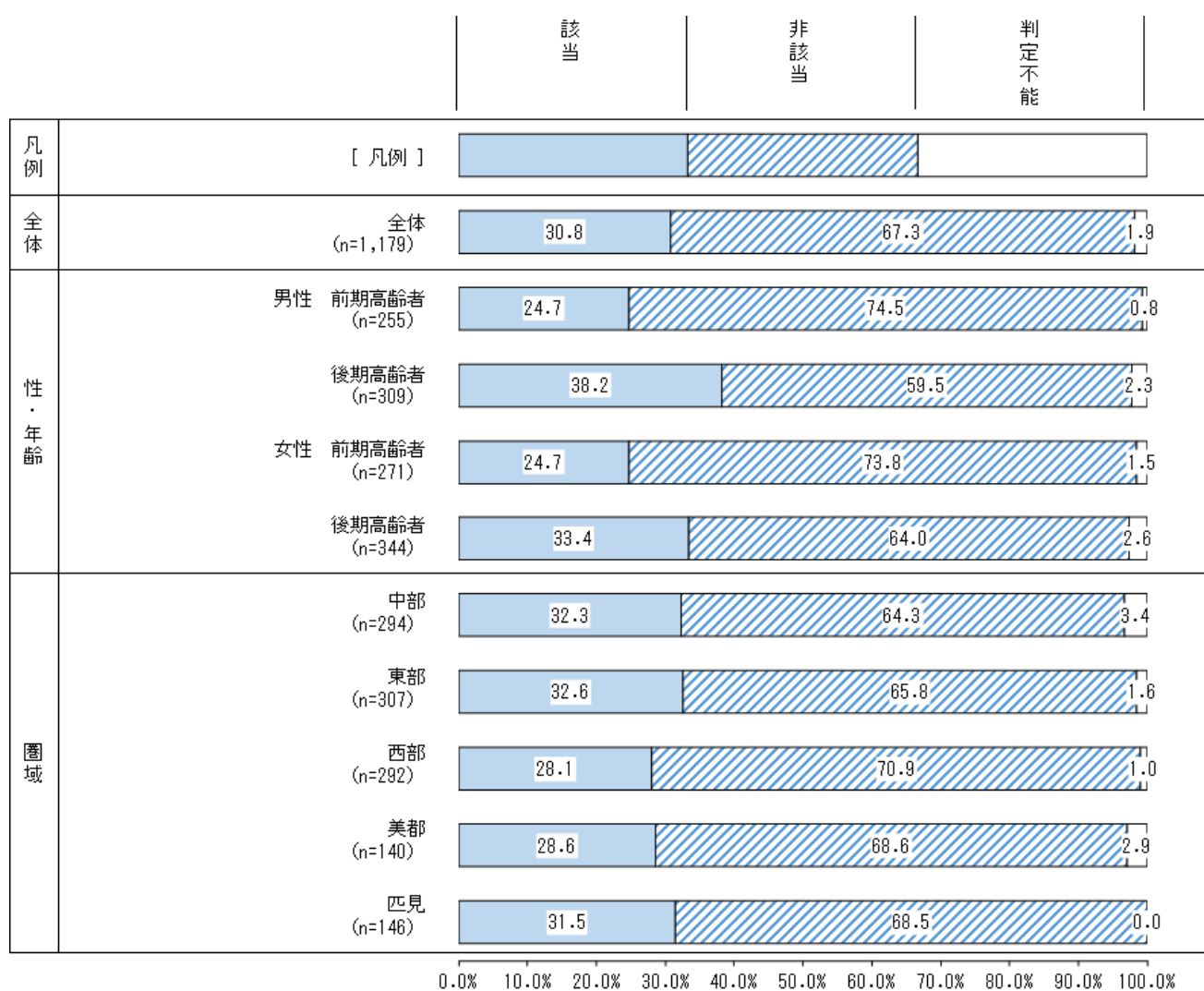
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【圏域】

○ 「該当」は東部が32.6%、中部が32.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【転倒リスク】



◆閉じこもりのリスク

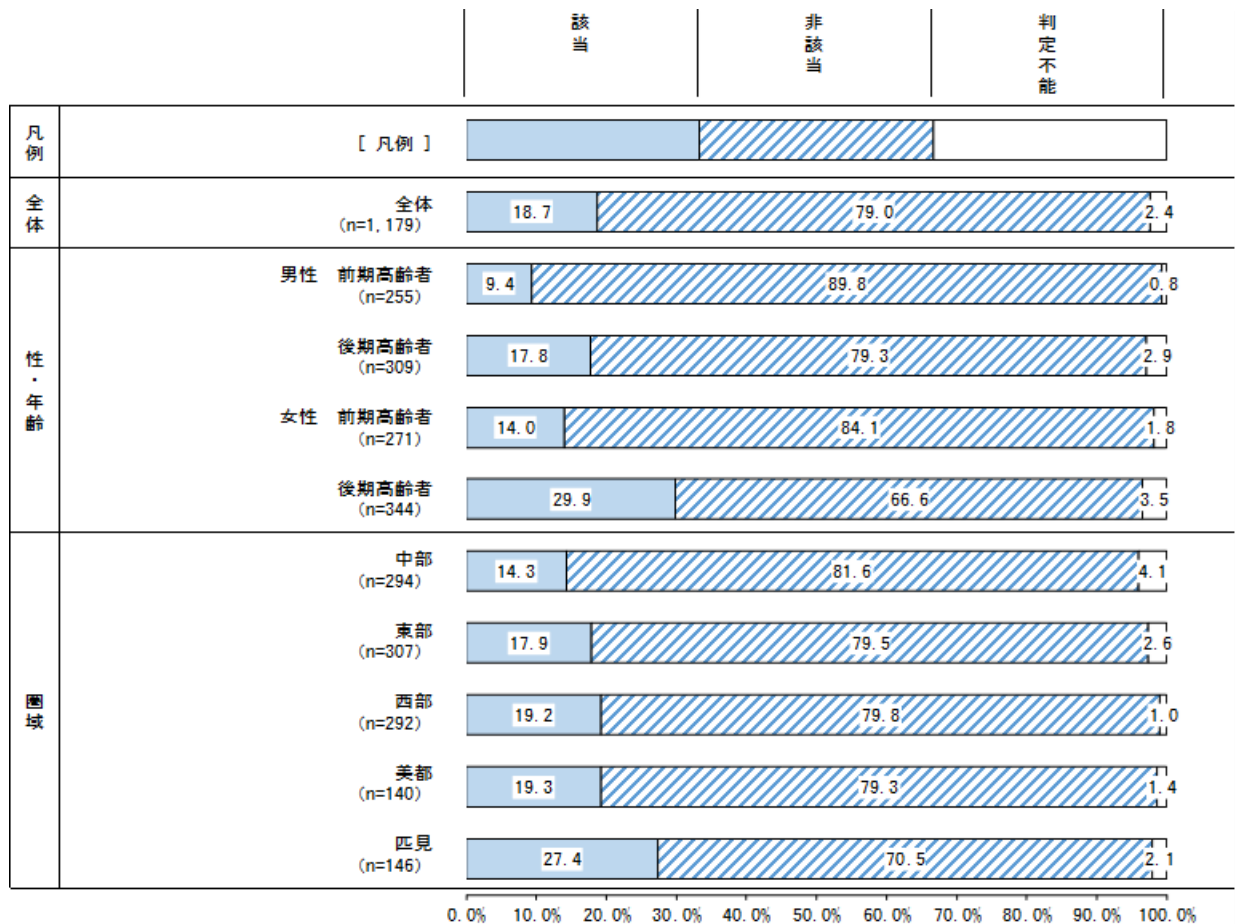
●閉じこもりのリスクの判定

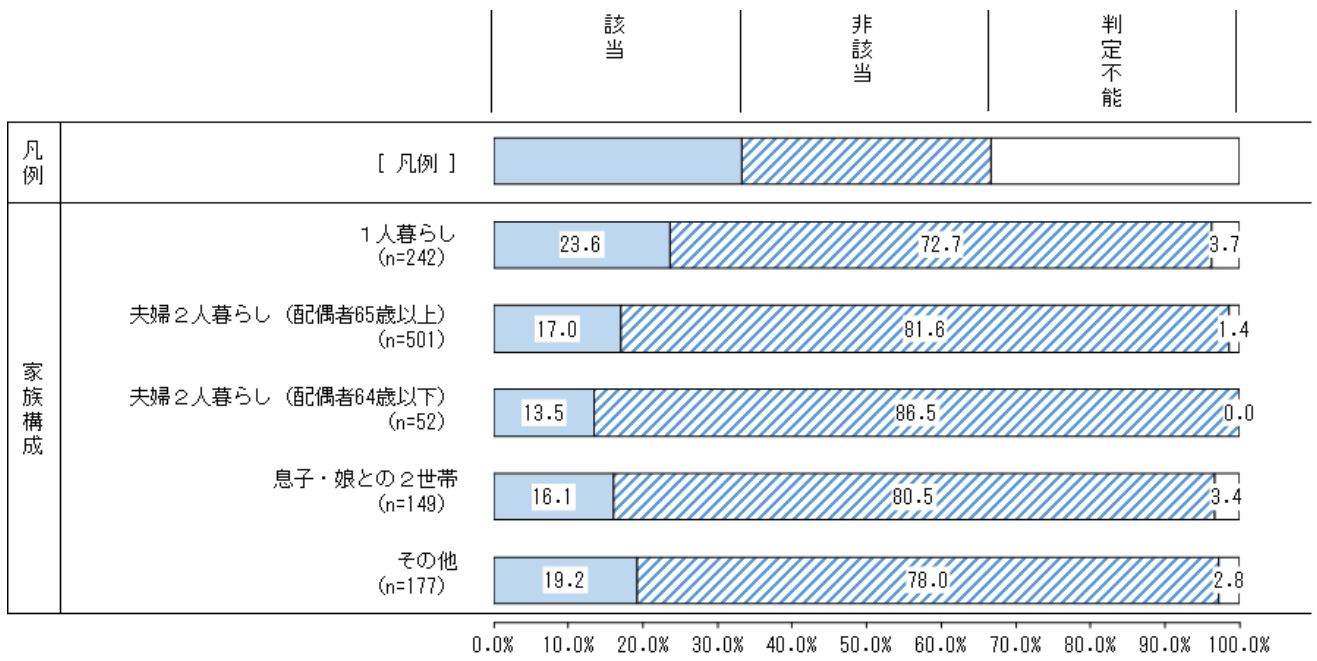
以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向のある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない／週1回

<p>【全体】</p> <p>○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が18.7%、「非該当」が79.0%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「該当」は匹見が27.4%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【家族構成】</p> <p>○ 「該当」は1人暮らしが23.6%と他の区分に比べて多くなっています。</p>
--

【閉じこもりのリスク】





◆口腔機能の低下リスク

●口腔機能の低下リスクの判定

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下している高齢者となります。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

【全体】

○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が 20.7%、「非該当」が 76.2%となっています。

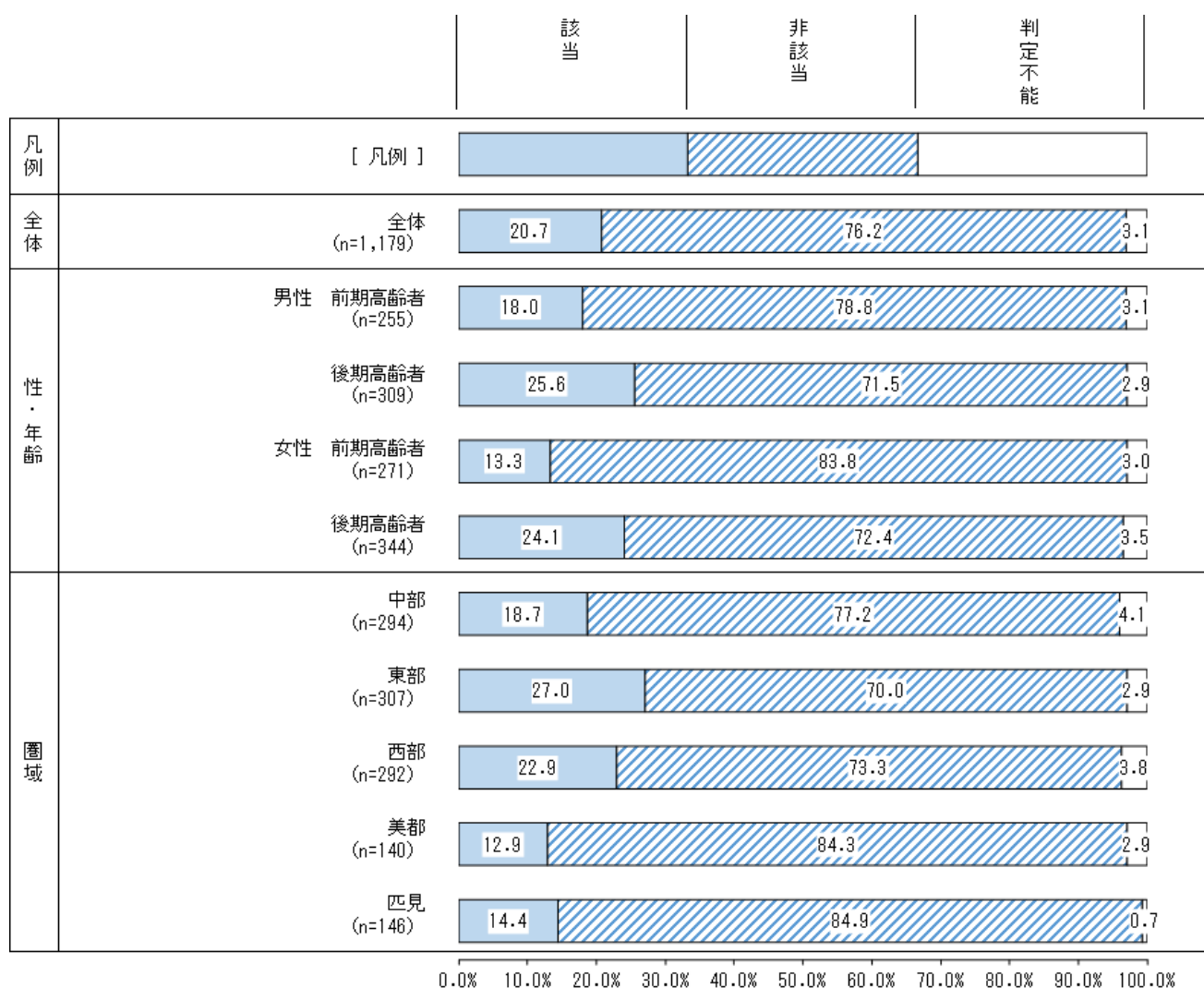
【性・年齢】

○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。

【圏域】

○ 「非該当」は匹見が 84.9%、美都が 84.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【口腔機能の低下リスク】



◆栄養改善のリスク

●栄養改善のリスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクのある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷身長(m) ²)	18.5未満

【全体】

○ 栄養改善について、「該当」が8.7%、「非該当」が87.0%となっています。

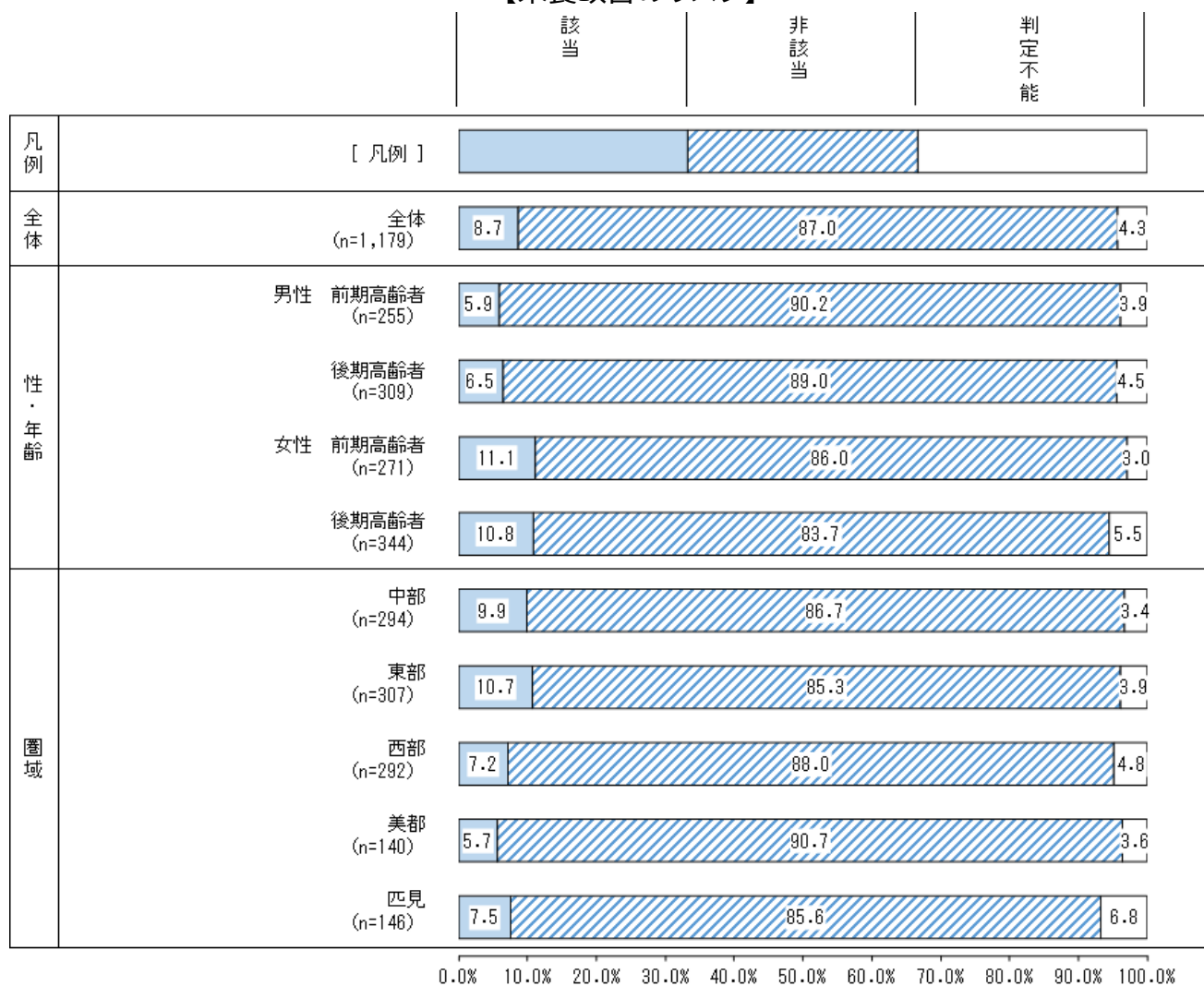
【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「該当」が多くなっています。

【圏域】

○ 「該当」は東部が10.7%、中部が9.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【栄養改善のリスク】



◆低栄養のリスク

●低栄養のリスクの判定

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷身長(m) ²)	18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	はい

【全体】

○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.9%、「非該当」が89.0%となっています。

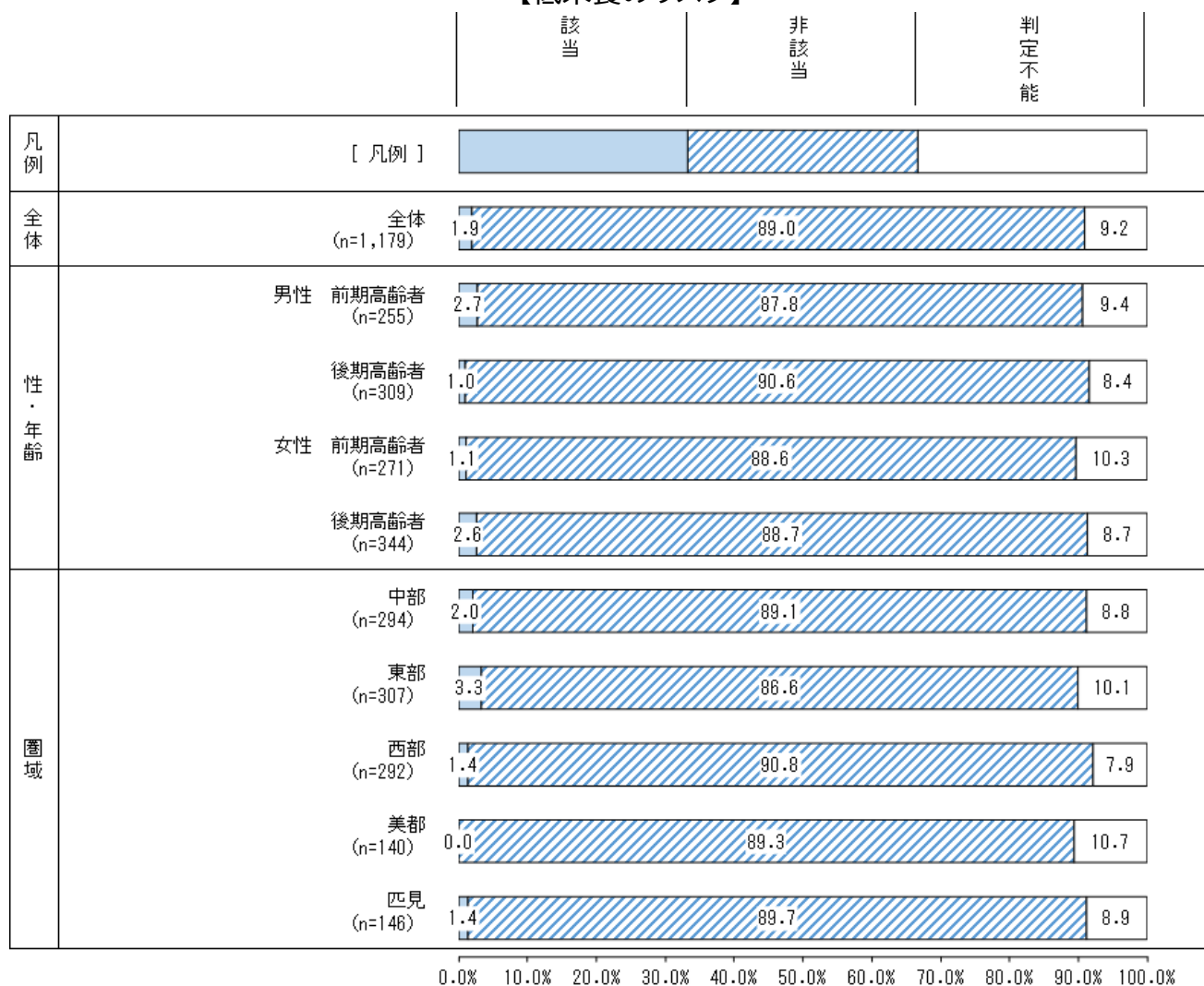
【性・年齢】

○ 「該当」は男性 前期高齢者が2.7%、女性 後期高齢者が2.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

○ 「該当」は東部が3.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【低栄養のリスク】



◆認知機能の低下リスク

●認知機能の低下リスクの判定

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

【全体】

○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が45.9%、「非該当」が52.1%となっています。

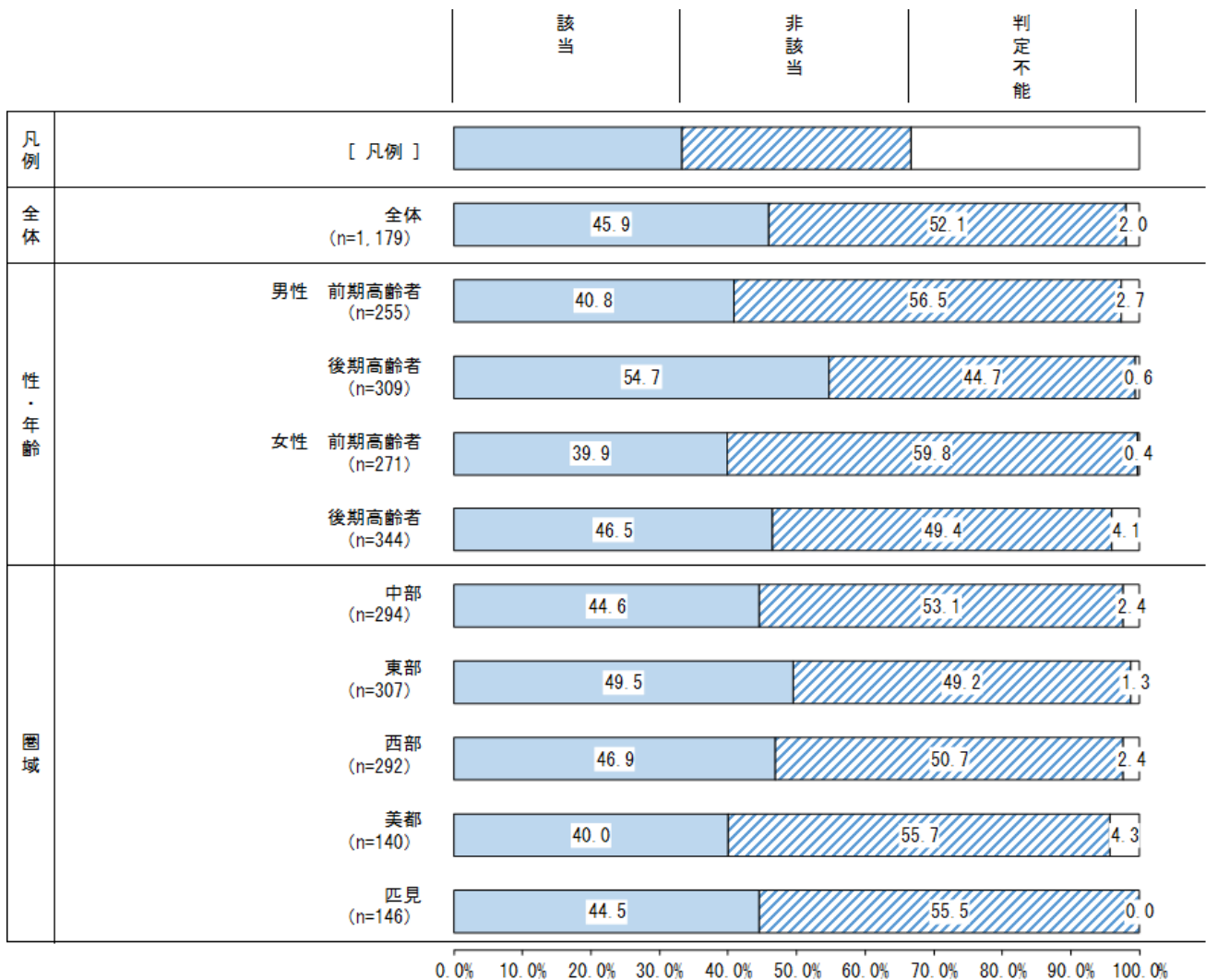
【性・年齢】

○ 「該当」は男性 後期高齢者が54.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

○ 「該当」は美都が40.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認知機能の低下リスク】



◆手段的自立度(IADL)

●手段的自立度(IADL)の判定

以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

設問	選択肢	配点
バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

※手段的自立度(IADL)とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

【全体】

○ IADL について、「5点(高い)」が 81.6%で最も多く、次いで「4点(やや低い)」が 7.3%、「3点以下(低い)」が 4.2%となっています。

【性・年齢】

○ 「5点(高い)」は女性 前期高齢者が 93.4%、男性 前期高齢者が 85.9%と他の区分に比べて多くなっています。

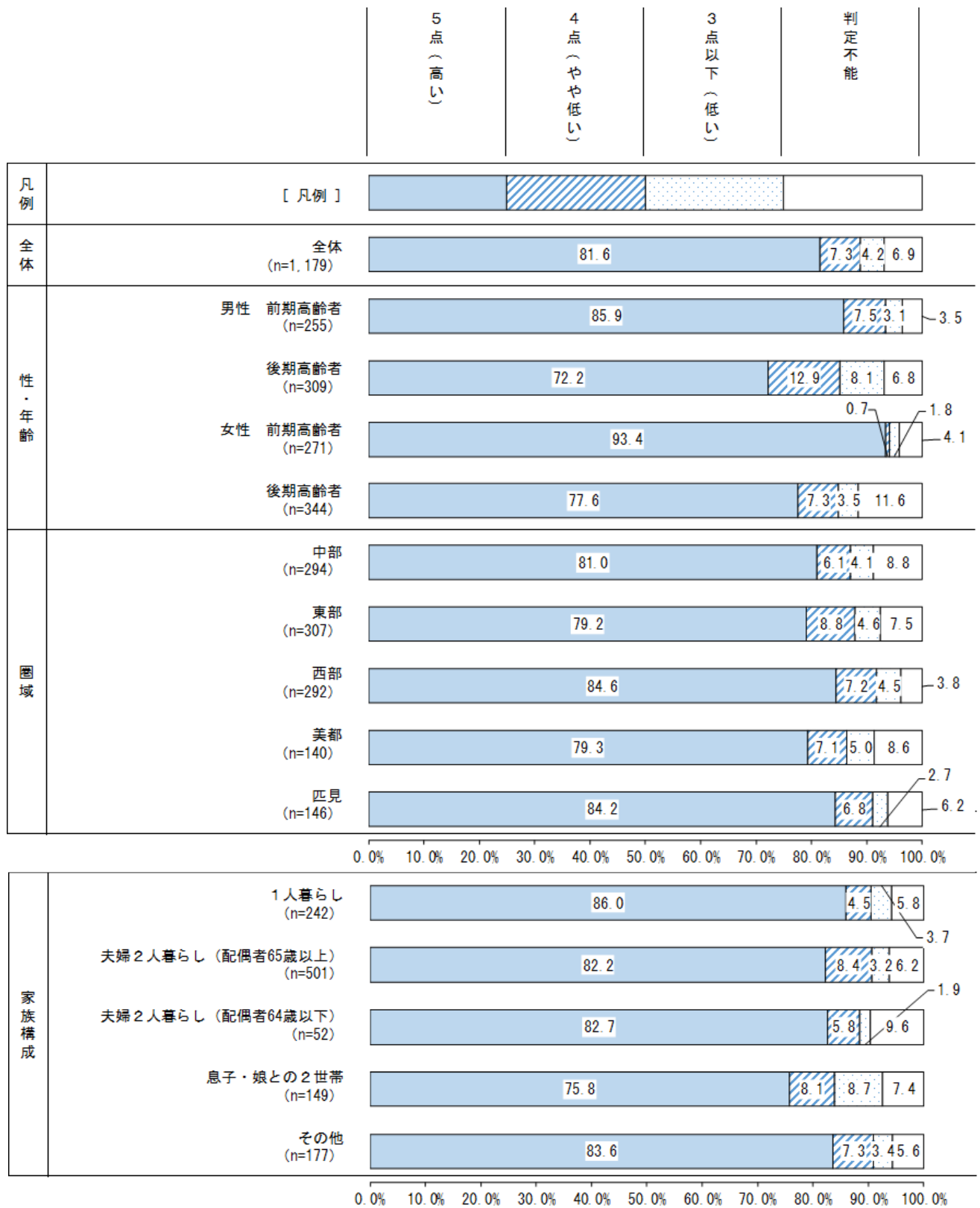
【圏域】

○ 「5点(高い)」は西部が 84.6%、匹見が 84.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】

○ 「5点(高い)」は1人暮らしが 86.0%と他の区分に比べて少なくなっています。

【手段的自立度(IADL)】



●問 5.1 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑧それぞれに回答してください

【全体】

- ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が 54.2%で最も多く、次いで「年に数回」が 10.2%、「月1～3回」が 5.9%となっています。「週 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」を合わせた“週 1 回以上参加している人”は 3.4%となっています。

【会・グループ等への参加頻度(全体)】

単位：%

		母数 (n)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体			1,179	0.8	1.7	0.9	5.9	10.2	54.2
性・ 年齢	男性 前期高齢者	255	-	1.6	0.4	7.5	15.3	63.9	11.4
	後期高齢者	309	1.6	0.6	1.3	3.6	12.6	48.9	31.4
	女性 前期高齢者	271	1.5	2.2	1.5	7.7	5.2	△ 66.8	15.1
	後期高齢者	344	-	2.3	0.6	5.2	8.1	▼ 41.9	41.9
圏 域	中部	294	0.7	0.7	-	6.5	7.1	57.8	27.2
	東部	307	1.3	3.6	0.7	6.2	11.1	51.8	25.4
	西部	292	0.7	1.4	0.7	4.1	9.9	56.2	27.1
	美都	140	0.7	2.1	2.9	8.6	8.6	52.1	25.0
	匹見	146	-	-	2.1	4.8	16.4	50.0	26.7

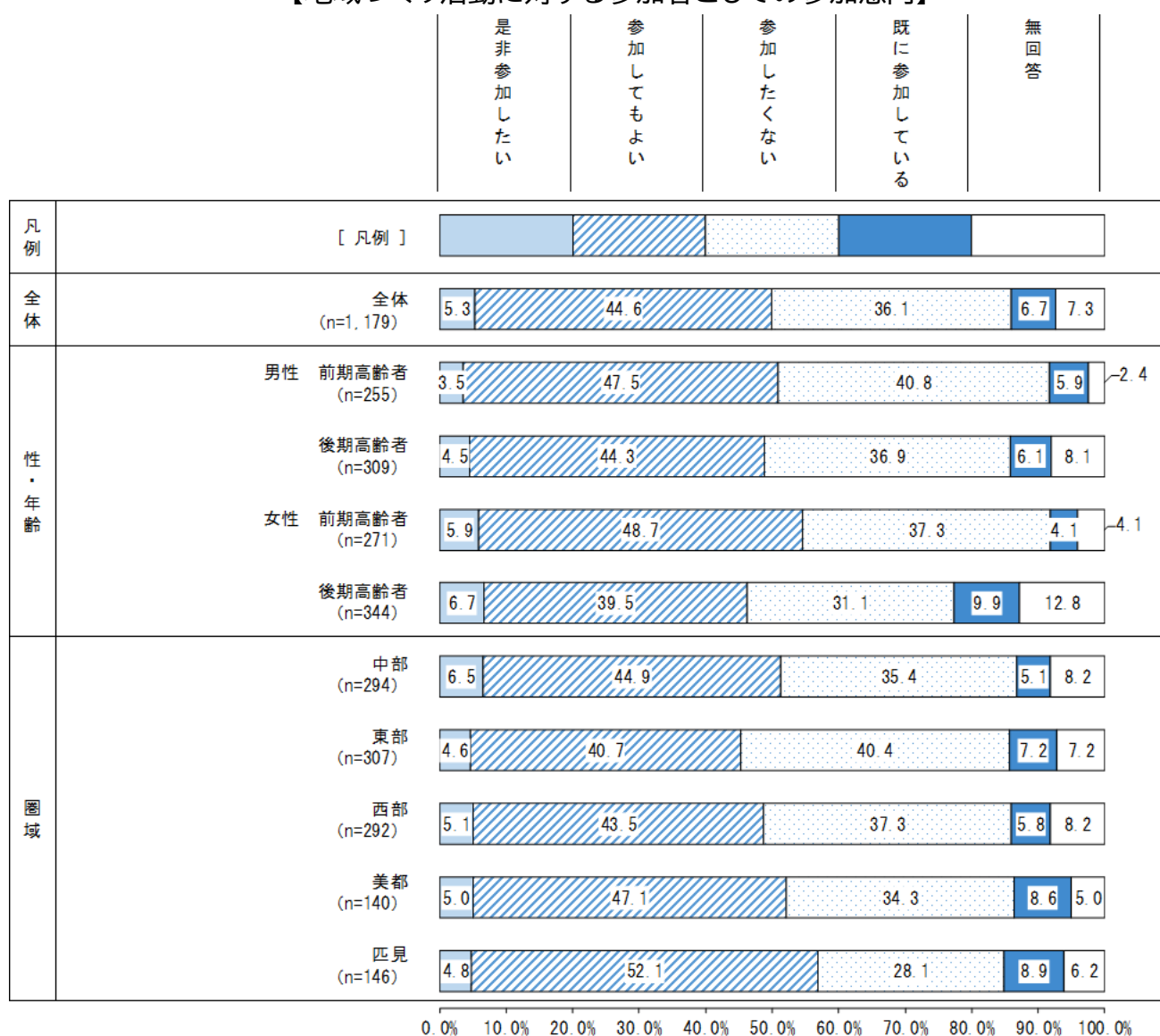
●問 5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

【全体】
 ○ 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が 44.6% で最も多く、次いで「参加したくない」が 36.1%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は 49.9%となっています。

【性・年齢】
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加してもよい」が多くなっています。

【圏域】
 ○ 「参加してもよい」は匹見が 52.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】



●問 5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

【全体】

○ 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が 57.3%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 29.1%、「既に参加している」が 4.2%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は 30.5%となっています。

【性・年齢】

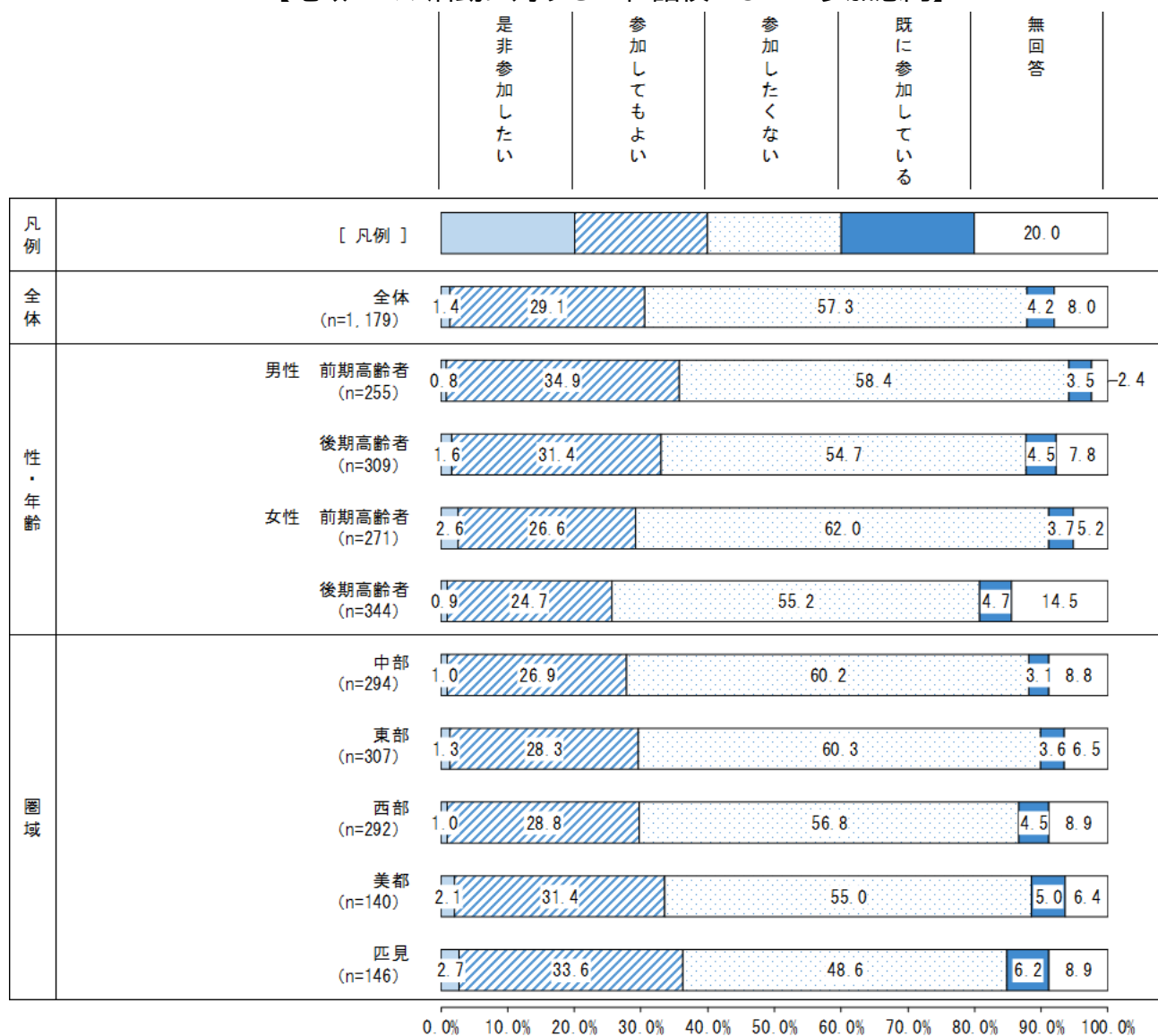
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「参加してもよい」が多くなっています。

【圏域】

○ 「是非参加したい」は美都が 2.1%、匹見が 2.7%と他の区分に比べて多くなっています。

○ 「参加してもよい」は美都が 31.4%、匹見が 33.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向】

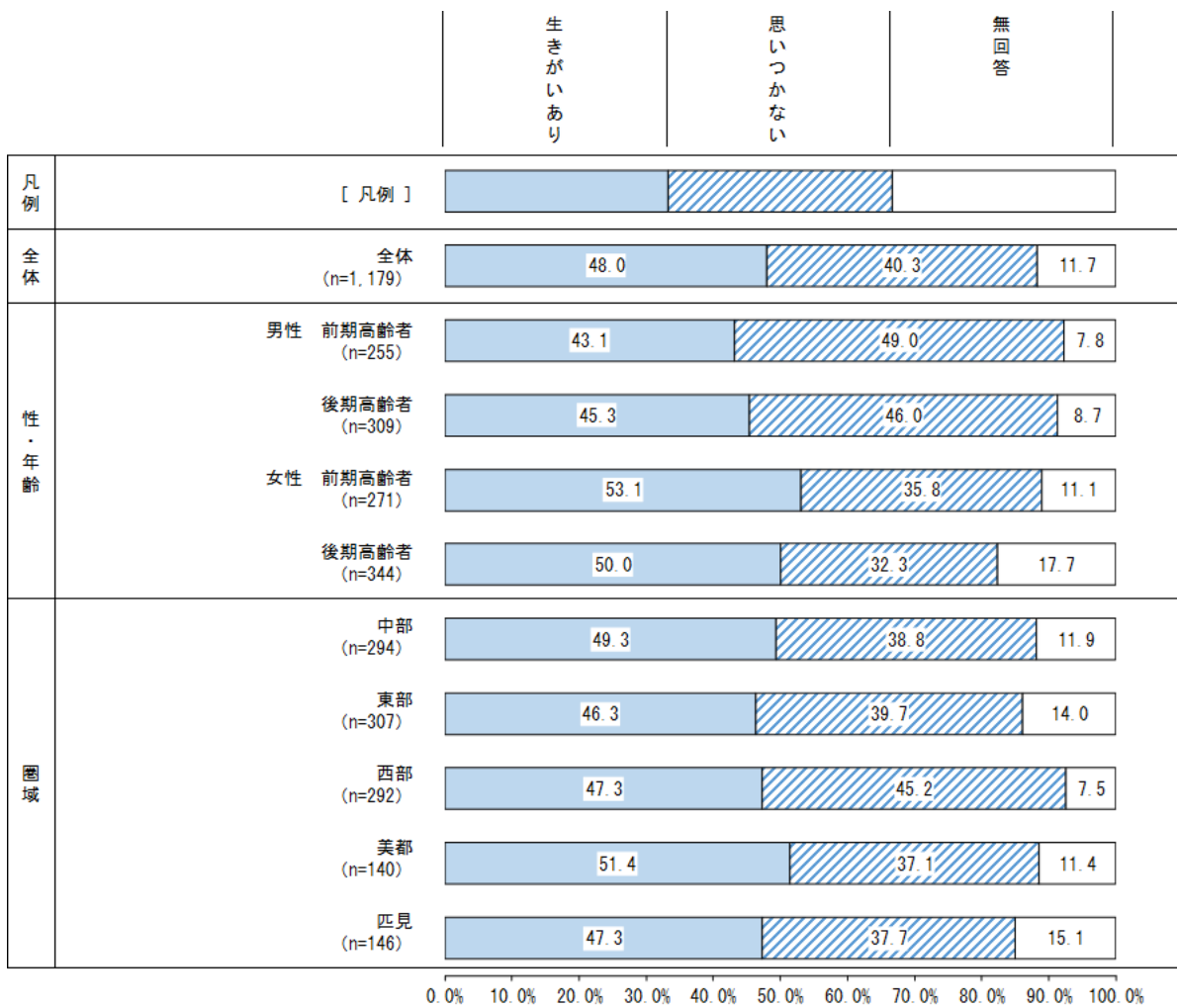


(3) 生きがいの有無

●問 4(18) 生きがいはありますか。(1つだけ○)

【全体】
○ 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 48.0%、「思いつかない」が 40.3%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「思いつかない」が多くなっています。
【圏域】
○ 「生きがいあり」は美都が 51.4%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「思いつかない」は西部が 45.2%と他の区分に比べて多くなっています。
【幸福感】
○ 幸福感が低いほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。

【生きがいの有無】



(4) 家族や友人・知人以外の相談相手

- 問 7(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも○)

【全体】

- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が33.6%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.3%、「地域包括支援センター・役所・役場」が12.6%となっています。

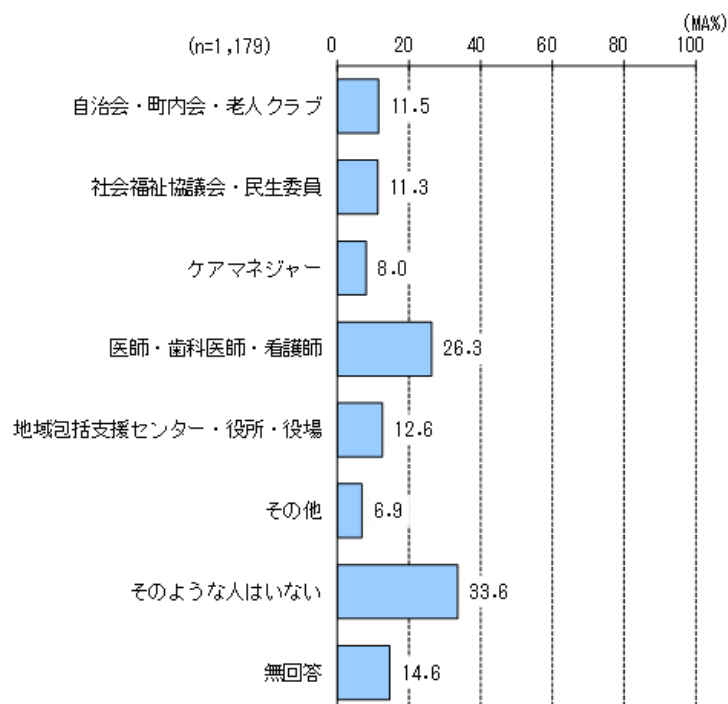
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「自治会・町内会・老人クラブ」が多くなっています。
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。
○ 「地域包括支援センター・役所・役場」は男性 前期高齢者が6.3%と他に比べて少なくなっています。

【圏域】

- 「社会福祉協議会・民生委員」は匹見が17.8%、美都が16.4%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「医師・歯科医師・看護師」は匹見が30.8%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「地域包括支援センター・役所・役場」は西部が9.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【何かあったときの相談相手】



単位：%

		母数 (n)	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全体		1,179	11.5	11.3	8.0	26.3	12.6	6.9	33.6	14.6
性・年齢	男性 前期高齢者	255	14.9	6.7	6.7	24.3	6.3	9.0	39.2	12.9
	後期高齢者	309	15.2	13.6	6.8	27.2	13.3	4.2	32.0	13.6
	女性 前期高齢者	271	3.3	5.5	5.9	24.0	12.9	9.6	38.0	16.2
	後期高齢者	344	11.9	17.2	11.6	28.8	16.6	5.5	27.3	15.4
圏域	中部	294	8.2	9.2	7.8	23.5	13.3	6.1	38.4	16.0
	東部	307	13.0	10.1	9.1	27.7	12.4	6.8	29.6	14.7
	西部	292	12.0	8.9	7.9	25.0	9.9	5.5	39.7	12.0
	美都	140	12.9	16.4	7.1	27.1	15.0	11.4	27.1	14.3
	匹見	146	12.3	17.8	6.8	30.8	15.1	6.8	26.0	17.1

(5) 主観的健康観

●問 8(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 主観的健康観について、「まあよい」が 66.8%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 19.1%、「とてもよい」が 7.2%となっています。「とてもよい」「まあよい」を合わせた“よい方”は 74.0%となっています。「あまりよくない」「よくない」を合わせた“よくない方”は 21.6%となっています。

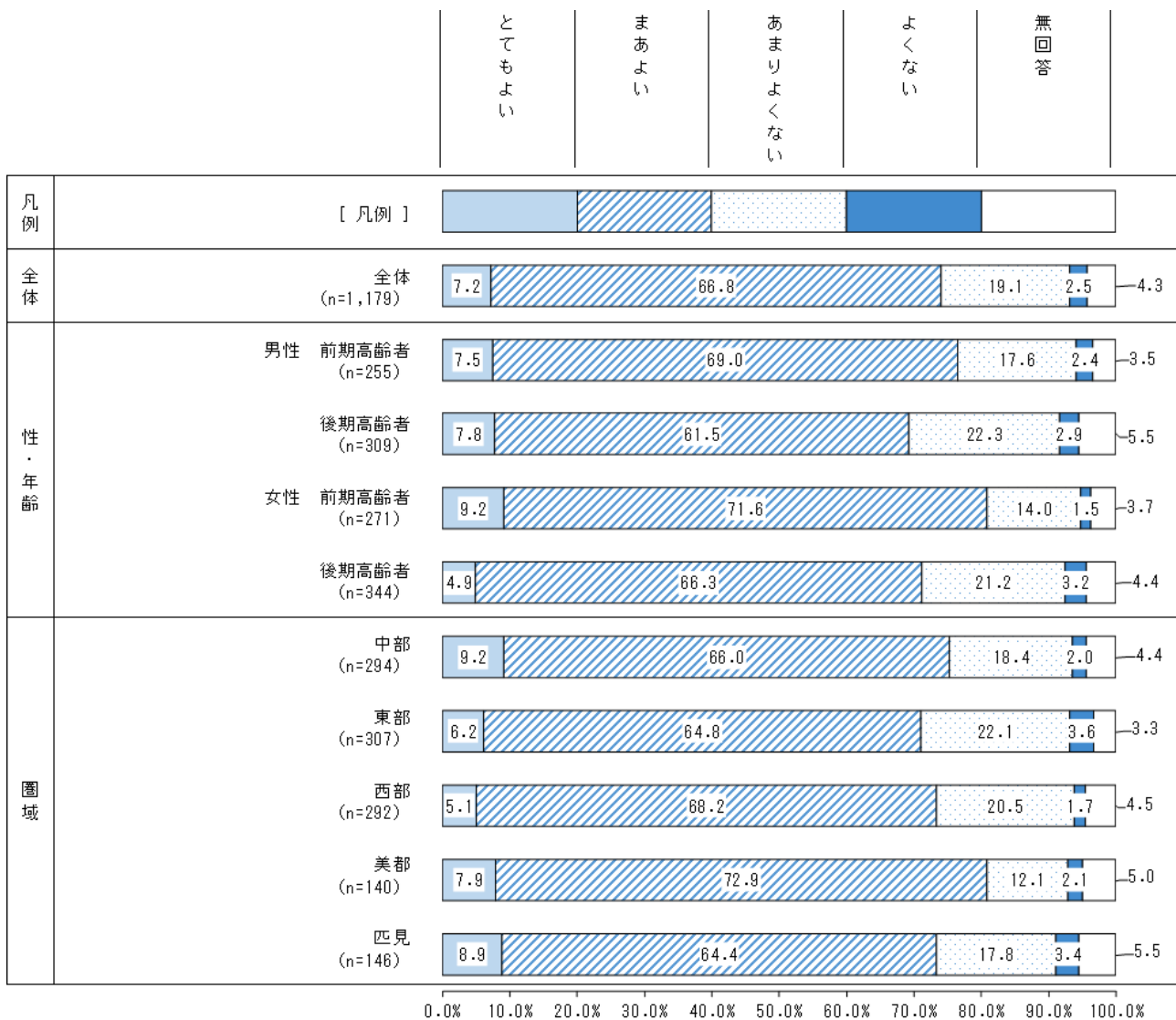
【性・年齢】

- 「とてもよい」は女性 後期高齢者が 4.9%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「あまりよくない」が多くなっています。

【圏域】

- 「あまりよくない」は東部が 22.1%、西部が 20.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康観】



(6) 主観的幸福感

●問 8(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 「主観的幸福感が高い(8 点以上)」は、全体で 43.9%となっています。

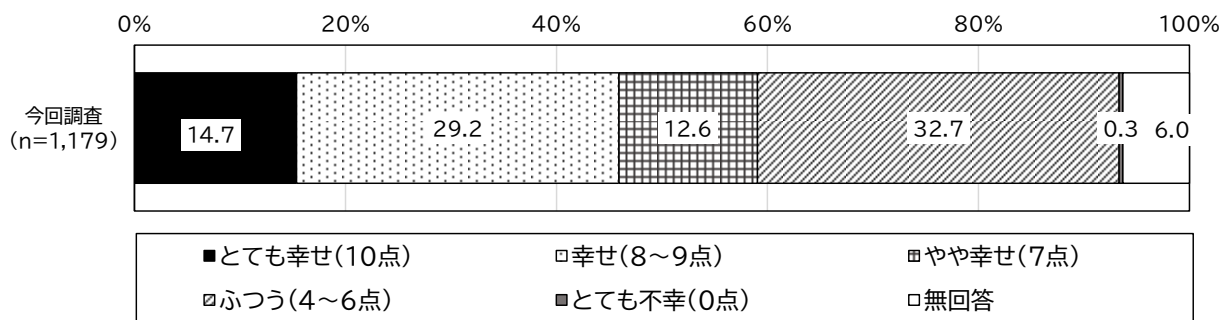
【性・年齢】

○ 「主観的幸福感が高い(8 点以上)」は、女性 前期高齢者が 48.3%と他の区分に比べて多く、男性 前期高齢者が 37.6%と他の区分に比べて低くなっています。

【圏域】

○ 「主観的幸福感が高い(8 点以上)」は美都が 49.3%と他の区分に比べて多く、次いで西部が 44.5%となっています。

【主観的幸福感】



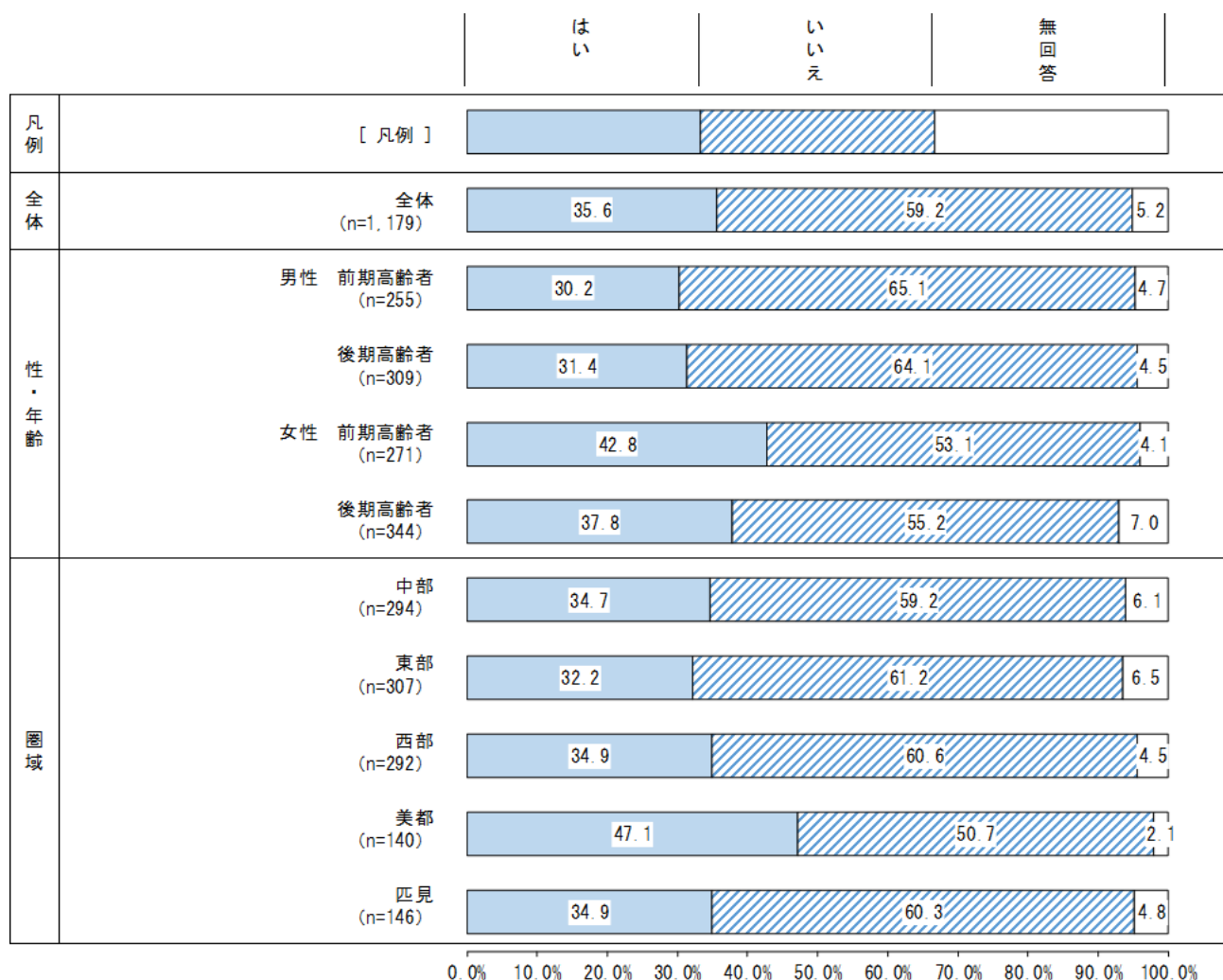
	全 体	8 点 以 上	8 点 未 満	無 回 答
性・年齢				
男性 前期高齢者	255	96	147	12
	100.0	37.6	57.6	4.7
後期高齢者	309	134	150	25
	100.0	43.4	48.5	8.1
女性 前期高齢者	271	131	125	15
	100.0	48.3	46.1	5.5
後期高齢者	344	156	169	19
	100.0	45.3	49.1	5.5
家族構成				
1人暮らし	242	68	162	12
	100.0	28.1	66.9	5.0
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	501	249	222	30
	100.0	49.7	44.3	6.0
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	52	25	26	1
	100.0	48.1	50.0	1.9
息子・娘との2世帯	149	76	68	5
	100.0	51.0	45.6	3.4
その他	177	75	89	13
	100.0	42.4	50.3	7.3
圏域				
中部	294	129	149	16
	100.0	43.9	50.7	5.4
東部	307	125	165	17
	100.0	40.7	53.7	5.5
西部	292	130	145	17
	100.0	44.5	49.7	5.8
美都	140	69	62	9
	100.0	49.3	44.3	6.4
匹見	146	64	70	12
	100.0	43.8	47.9	8.2

(7) 認知症にかかる相談窓口の把握について

●問 9(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

<p>【全体】</p> <p>○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が 35.6%、「いいえ」が 59.2%となっています。</p> <p>【性・年齢】</p> <p>○ 「はい」は女性 前期高齢者が 42.8%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>【圏域】</p> <p>○ 「はい」は美都が 47.1%と他の区分に比べて多くなっています。</p>

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



(8) 認知症に関する相談窓口の周知状況

【問9(2)において「1. はい」の方のみ】

●問9(2) ① 認知症にかかる相談窓口としてどこを知っていますか。(いくつでも)。

【全体】

- 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「地域包括支援センター」が 57.6%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が 54.5%、「市役所」が 48.6%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「市役所」が多くなっています。
- 「認知症サポート医」は女性 前期高齢者が 10.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況(MA)】

単位：%

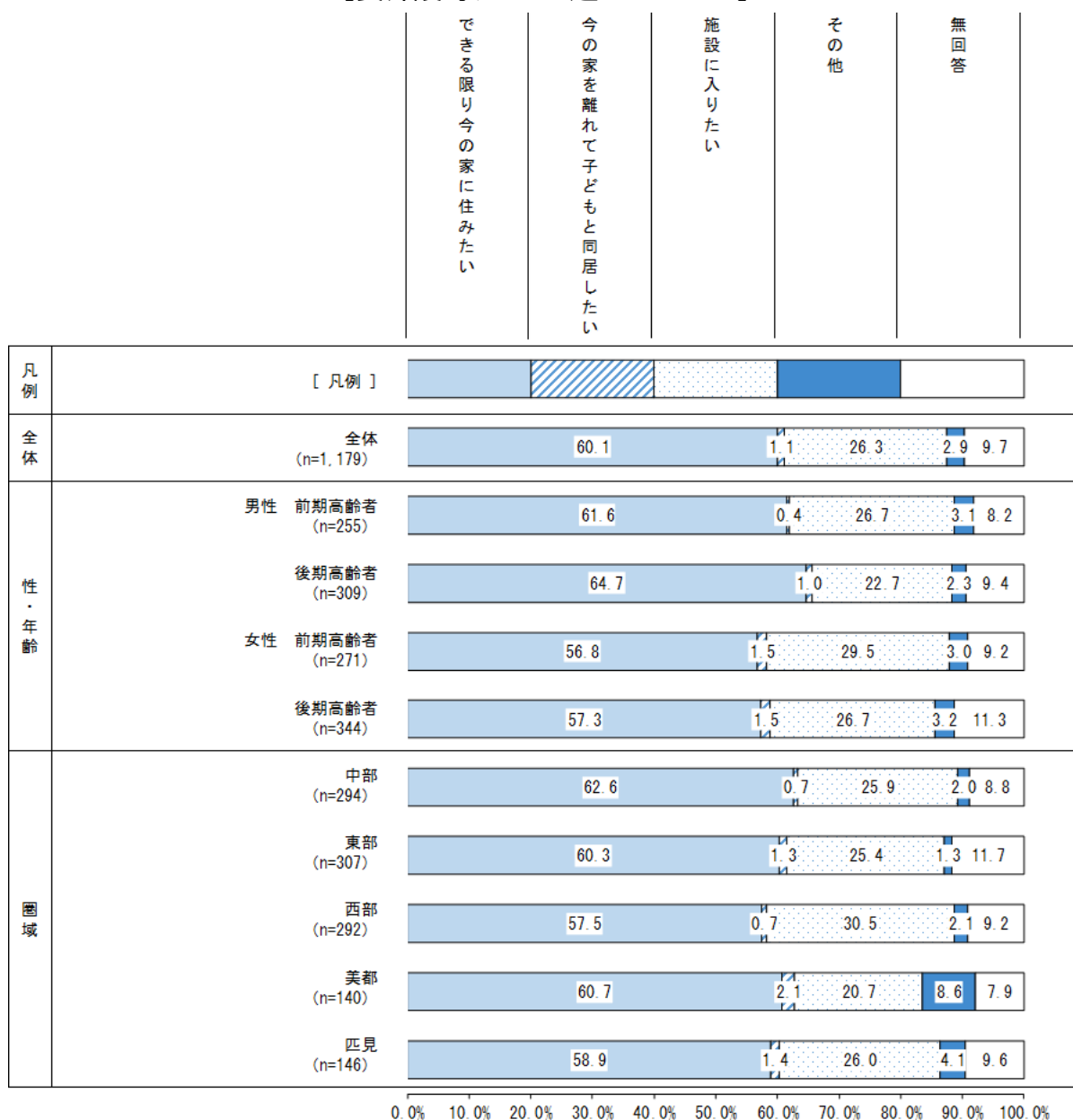
		母数 (n)	市役所	地域包括支援センター	認知症疾患医療センター (松ヶ丘病院)	認知症初期集中支援チーム	かかりつけ医	認知症サポート医	その他	無回答
全体		420	48.6	57.6	39.0	1.0	54.5	5.2	0.5	2.4
性・年齢	男性 前期高齢者	77	57.1	▼46.8	36.4	1.3	50.6	3.9	-	3.9
	後期高齢者	97	▼38.1	54.6	33.0	-	59.8	2.1	2.1	4.1
	女性 前期高齢者	116	56.9	66.4	48.3	0.9	45.7	10.3	-	0.9
	後期高齢者	130	43.8	58.5	36.9	1.5	60.8	3.8	-	1.5

(9) 将来の生活について

●問 10(1) あなたは、介護が必要となった時、どこで過ごしたいですか。

【全体】
○ 要介護時、どこで過ごしたいかについて、「できる限り今の家に住みたい」が 60.1%で最も多く、次いで「施設に入りたい」が 26.3%、「その他」が 2.9%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「できる限り今の家に住みたい」が多くなっています。
【圏域】
○ 「施設に入りたい」は美都が 20.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

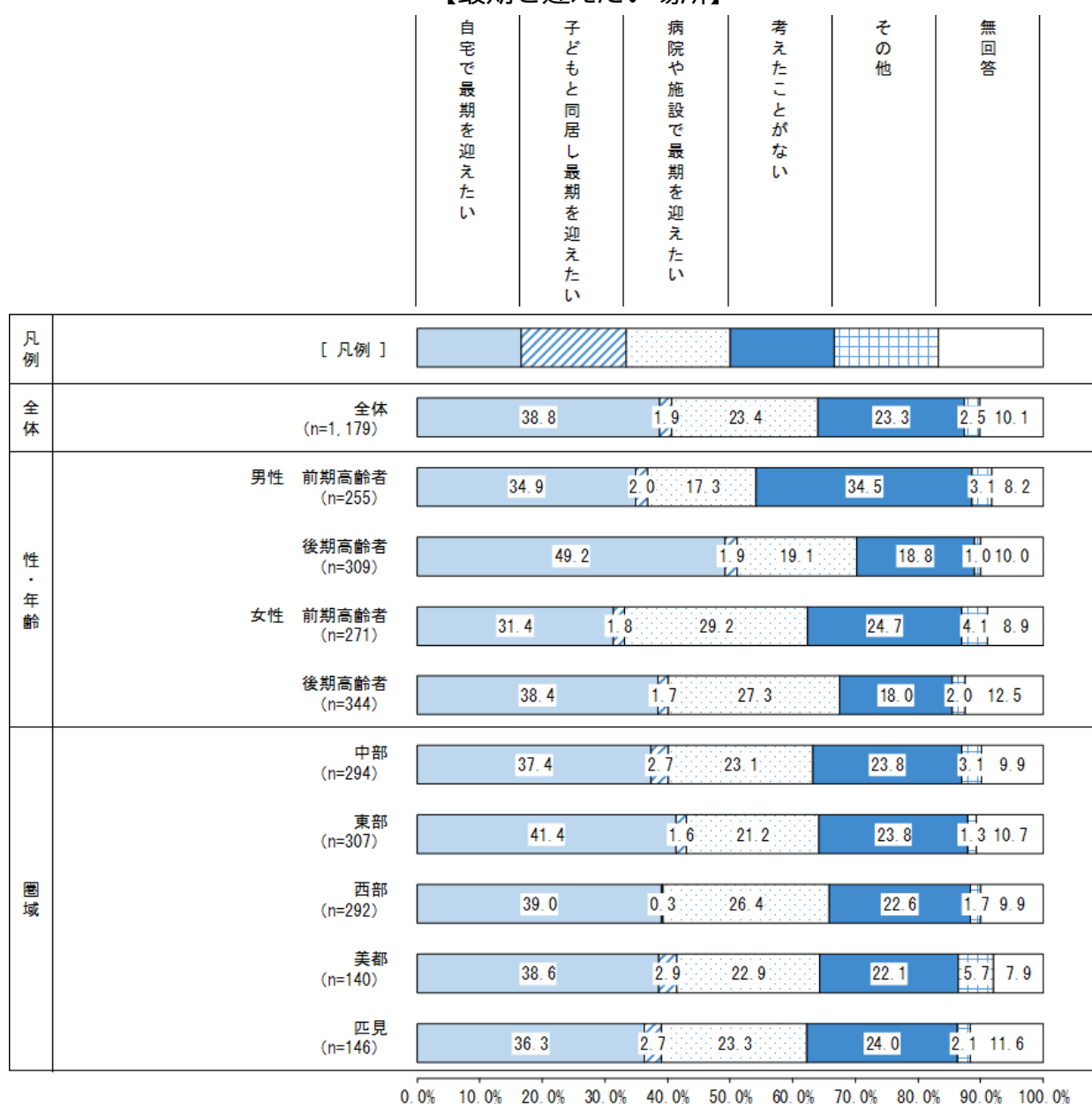
【要介護時、どこで過ごしたいか】



●問 10(2) あなたは、将来どこで最期を迎えたいかについてどう考えていますか。

- 【全体】
- 最期を迎えたい場所について、「自宅で最期を迎えたい」が 38.8%で最も多く、次いで「病院や施設で最期を迎えたい」が 23.4%、「考えたことがない」が 23.3%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「自宅で最期を迎えたい」が多くなっています。
 - 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「考えたことがない」が多くなっています。
- 【圏域】
- 「病院や施設で最期を迎えたい」は西部が 26.4%と他の区分に比べて多くなっています。

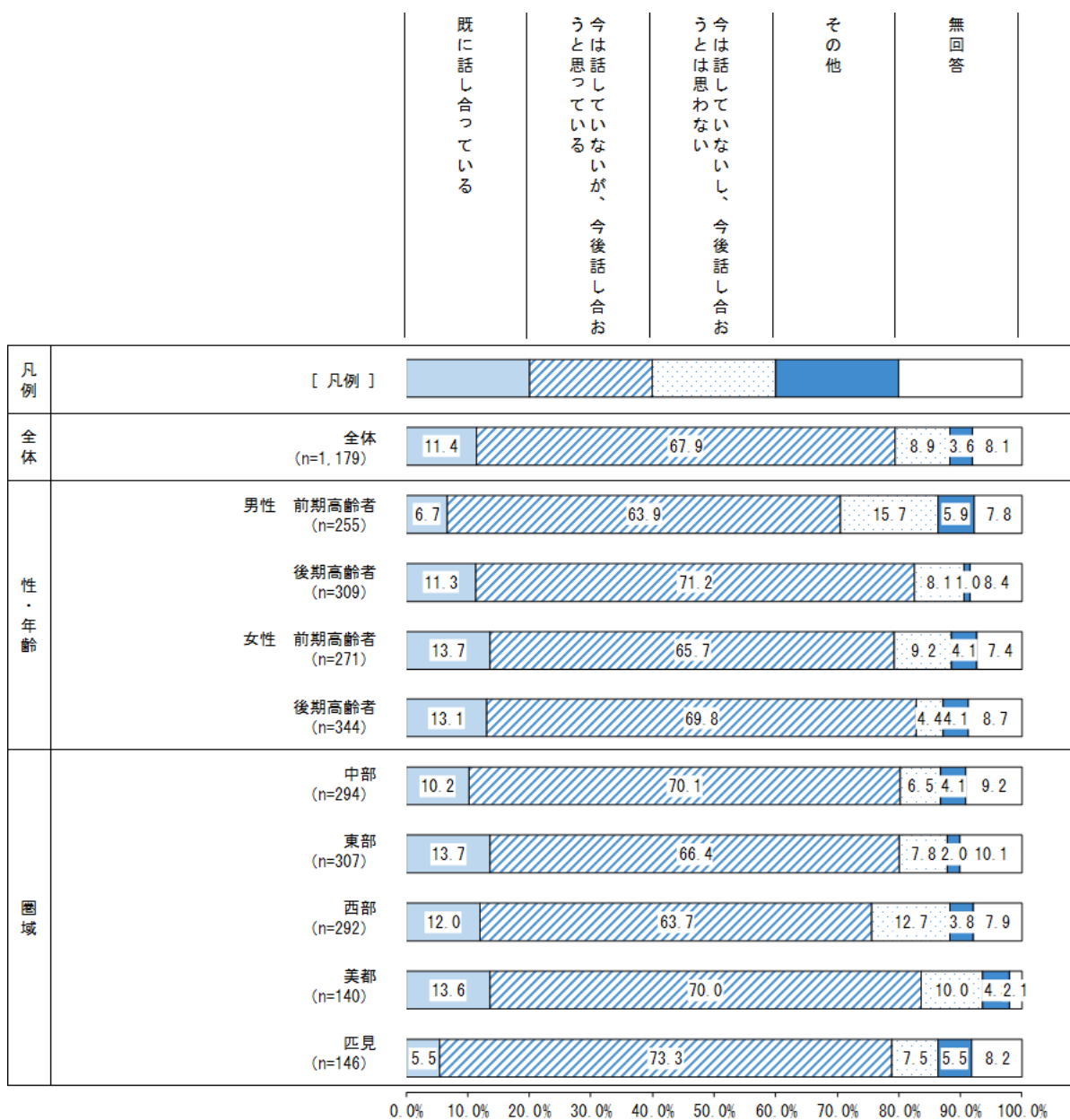
【最期を迎えたい場所】



●問 10(3) あなたは将来の生活や療養について、家族や医療介護関係者と話し合ったことがありますか。また話し合おうと思いますか。

- 【全体】
- 将来についての話し合いについて、「今は話していないが、今後話し合おうと思っている」が67.9%で最も多く、次いで「既に話し合っている」が11.4%、「今は話していないし、今後話し合おうとは思わない」が8.9%となっています。
- 【性・年齢】
- 「今は話していないし、今後話し合おうとは思わない」は男性 前期高齢者が15.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【圏域】
- 「既に話し合っている」は匹見が5.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【将来についての話し合い】

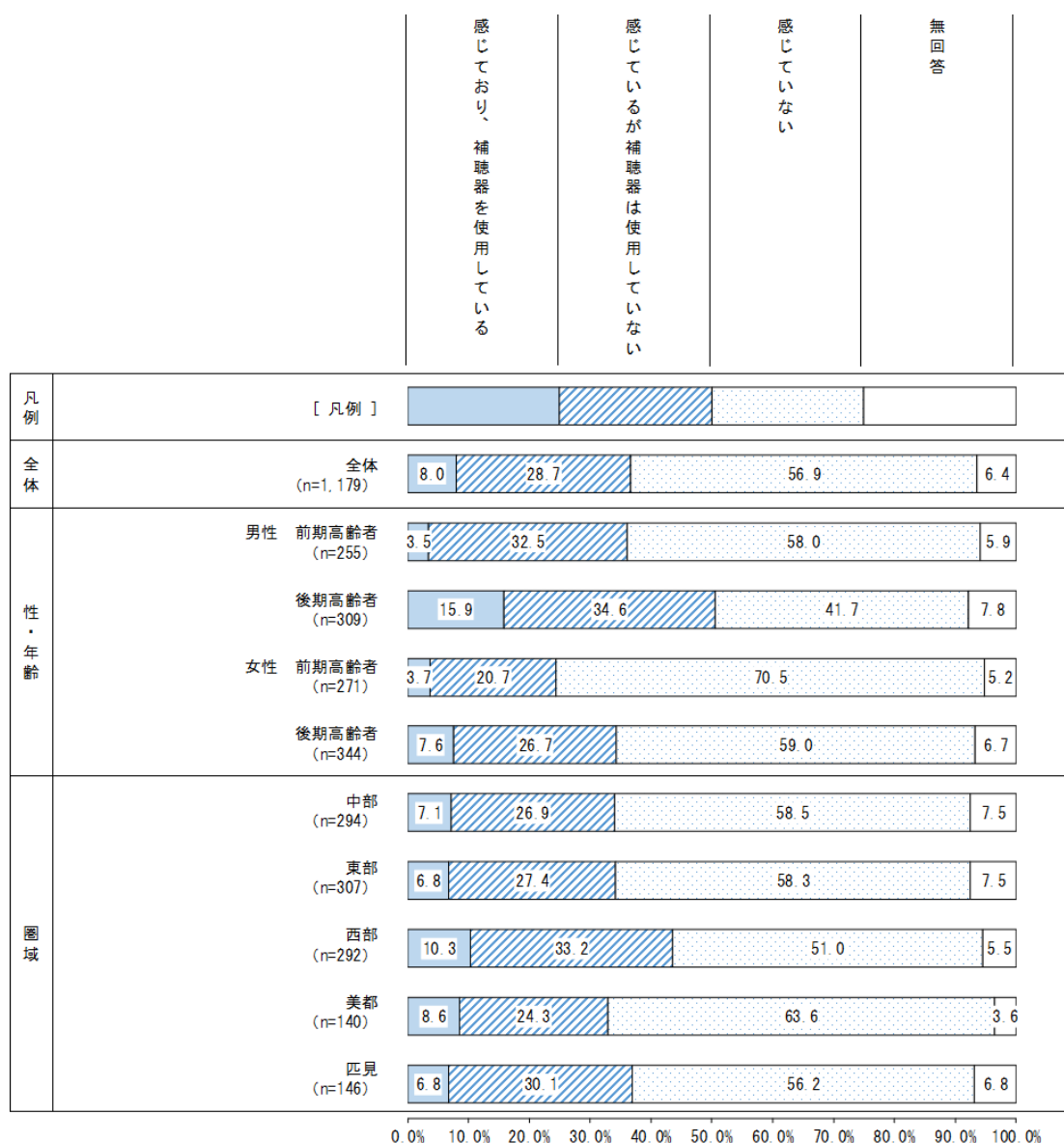


(10) 聴力について

●問 10(4) あなたは、日常生活において耳の聞こえにくさを感じていますか。

【全体】
○ 耳が聞こえにくいかについて、「感じていない」が 56.9%で最も多く、次いで「感じているが補聴器は使用していない」が 28.7%、「感じており、補聴器を使用している」が 8.0%となっています。
【性・年齢】
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「感じているが補聴器は使用していない」が多くなっています。
○ 「感じていない」は女性 前期高齢者が 70.5%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】
○ 「感じているが補聴器は使用していない」は西部が 33.2%、匹見が 30.1%と他の区分に比べて多くなっています。

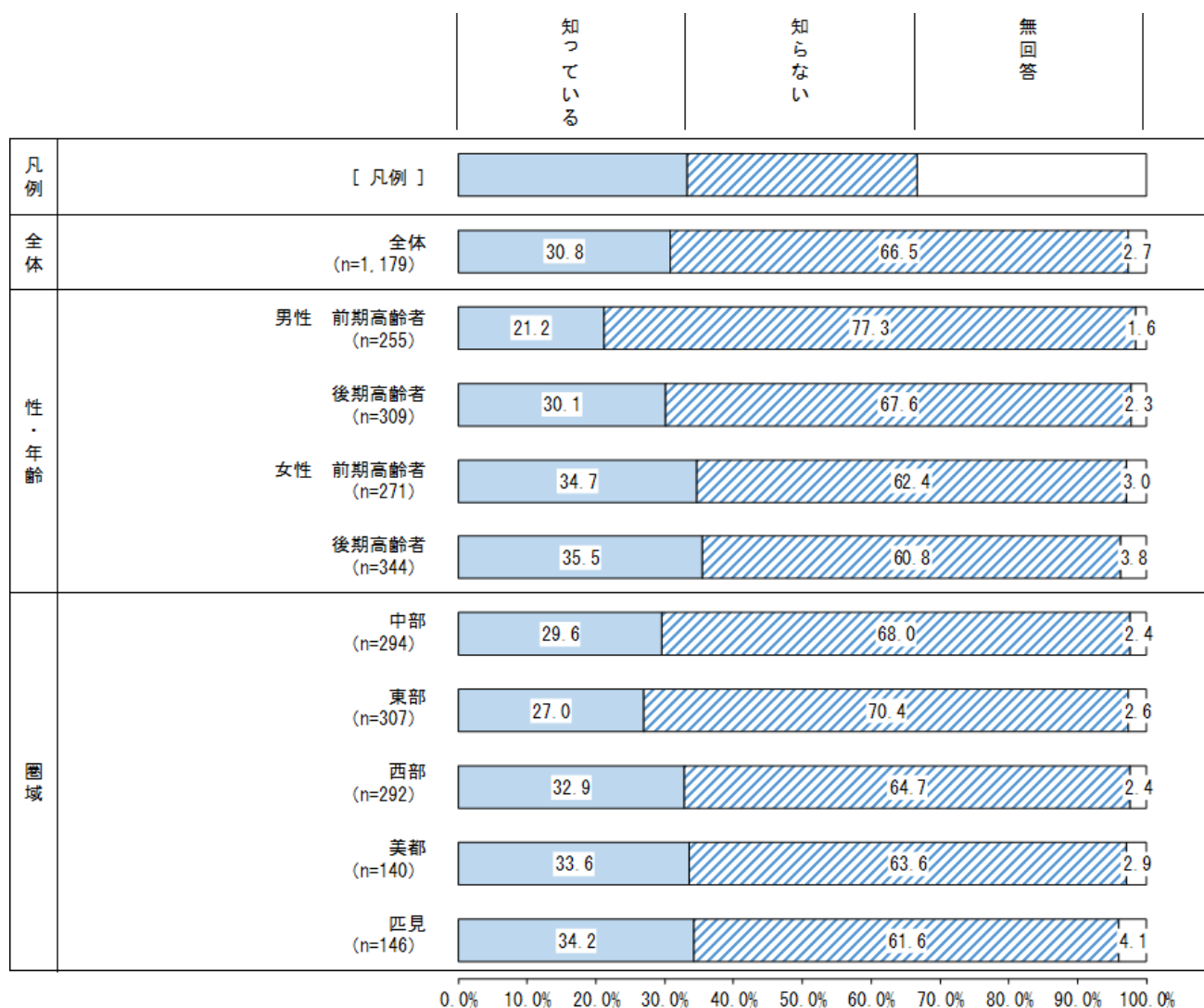
【耳が聞こえにくいか】



●問 10(5) 益田市には、高齢者補聴器購入費助成事業(中等度の難聴の高齢者に対して、補聴器の購入費を助成する事業)があることを知っていますか。

- 【全体】
 ○ 高齢者補聴器購入費助成事業の周知状況について、「知っている」が 30.8%、「知らない」が 66.5%となっています。
- 【性・年齢】
 ○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。
- 【圏域】
 ○ 「知らない」は中部が 68.0%、東部が 70.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【高齢者補聴器購入費助成事業の周知】

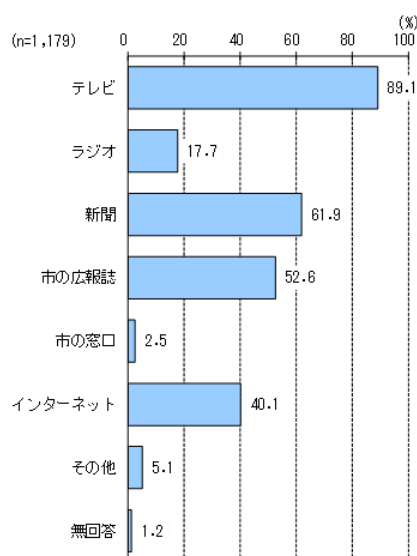


(11) 情報の入手・利用について

- 問 10(6) 日常生活において、あなたにとって必要な情報は、どこから入手していますか。
(いくつでも○)

【全体】	○ 必要な情報の入手方法について、「テレビ」が 89.1%で最も多く、次いで「新聞」が 61.9%、「市の広報誌」が 52.6%となっています。
【性・年齢】	○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「インターネット ※携帯電話、スマートフォン、パソコン等」が多くなっています。
【家族構成】	○ 「新聞」は夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)が 69.9%と他の区分に比べて多くなっています。
【圏域】	○ 「市の広報誌」は美都が 62.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【必要な情報の入手方法】



単位：%

		母数 (n)	テレビ	ラジオ	新聞	市の 広報誌	市の 窓口	イン ター ネ ット	そ の 他	無 回 答
全体		1,179	89.1	17.7	61.9	52.6	2.5	40.1	5.1	1.2
性・ 年齢	男性 前期高齢者	255	86.3	18.8	58.0	▼ 39.6	1.6	△ 61.6	4.3	0.8
	後期高齢者	309	90.3	17.5	67.0	53.1	2.6	▼ 27.8	3.2	1.0
	女性 前期高齢者	271	89.3	14.0	55.4	49.4	1.1	△ 57.6	5.5	1.1
	後期高齢者	344	89.8	20.1	65.4	△ 64.2	4.4	▼ 21.5	7.0	1.7
家族 構成	1人暮らし	242	84.7	19.0	▼ 47.9	54.1	2.1	30.2	8.3	2.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	501	90.6	17.8	69.9	55.9	3.0	43.1	2.8	0.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	52	88.5	21.2	55.8	▼ 42.3	3.8	△ 59.6	3.8	-
	息子・娘との2世帯	149	90.6	18.8	67.8	54.4	2.7	37.6	6.0	2.0
	その他	177	92.7	12.4	59.9	45.2	1.7	45.2	5.6	-
圏 域	中部	294	91.2	19.4	64.6	54.4	2.4	42.2	6.1	1.0
	東部	307	87.9	20.2	59.3	46.3	2.9	39.7	2.9	1.6
	西部	292	87.3	14.4	59.6	53.4	2.4	41.8	7.2	1.7
	美都	140	91.4	16.4	62.9	△ 62.9	2.1	42.1	2.9	-
	匹見	146	88.4	17.1	65.8	50.7	2.7	31.5	5.5	0.7

●問 10(7) あなたは、携帯電話やスマートフォンを、どのような用途で利用していますか。
(いくつでも○)

【全体】

- 携帯電話やスマートフォンの用途について、「家族や友人などへの電話やメール」が 81.8%で最も多く、次いで「カメラ機能で写真や動画を撮る」が 38.0%、「情報収集(インターネットの検索等)」が 29.5%となっています。

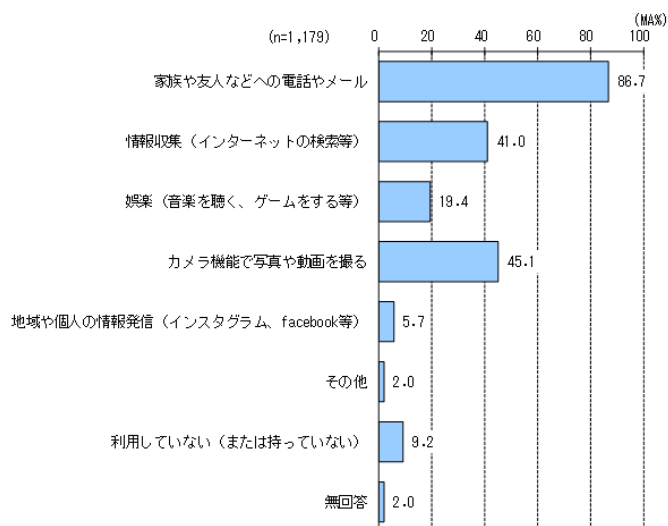
【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「カメラ機能で写真や動画を撮る」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「利用していない(または持っていない)」が多くなっています。

【圏域】

- 「家族や友人などへの電話やメール」は匹見が 88.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「情報収集(インターネットの検索等)」は中部が 36.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【携帯電話やスマートフォンの利用用途】



単位：%

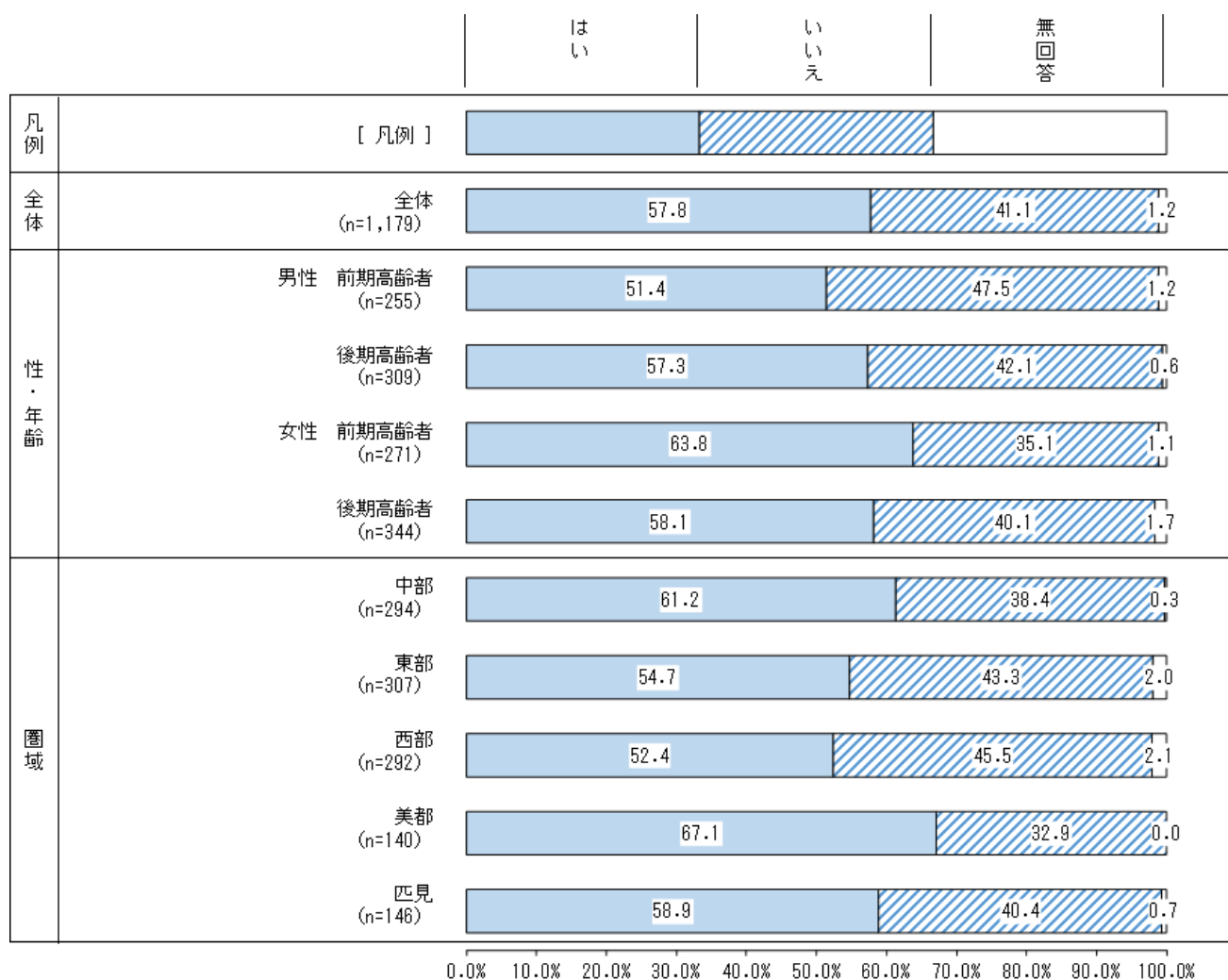
	母数 (n)	家族や友人などへの電話やメール	情報収集(インターネットの検索等)	娯楽(音楽を聴く、ゲームをする等)	カメラ機能で写真や動画を撮る	地域や個人の情報発信(インスタグラム、facebook等)	その他	利用していない(または持っていない)	無回答	
全体	1,179	86.7	41.0	19.4	45.1	5.7	2.0	9.2	2.0	
性・年齢	男性 前期高齢者	255	91.4	△ 61.6	△ 32.2	46.3	8.6	2.7	4.3	1.2
	後期高齢者	309	80.6	▼ 27.8	10.4	▼ 31.7	2.3	2.3	13.6	2.9
	女性 前期高齢者	271	94.1	△ 61.3	29.2	△ 66.1	12.5	1.1	3.7	1.5
	後期高齢者	344	82.8	▼ 21.5	10.5	39.8	1.2	1.7	13.4	2.3
家族構成	1人暮らし	242	83.1	▼ 30.6	14.0	37.6	4.5	3.3	10.7	3.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	501	85.4	43.9	18.6	49.1	5.4	1.8	11.0	1.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	52	△ 100.0	△ 61.5	△ 42.3	△ 55.8	9.6	-	-	-
	息子・娘との2世帯	149	88.6	39.6	16.1	45.6	5.4	2.0	8.7	1.3
	その他	177	92.1	44.6	24.9	42.9	6.8	1.1	5.1	1.7
圏域	中部	294	87.1	42.9	21.1	45.6	6.8	2.7	9.5	1.0
	東部	307	86.3	40.1	19.2	44.6	5.9	2.0	8.8	2.6
	西部	292	86.0	43.8	20.2	40.1	5.8	1.0	10.3	2.4
	美都	140	89.3	42.1	19.3	53.6	5.7	1.4	7.1	1.4
	匹見	146	85.6	32.2	15.1	47.3	2.7	2.7	9.6	2.7

(12) 歯科受診について

●問 10(8) 定期的に歯科受診をしていますか。

【全体】
○ 定期的な歯科受診の有無について、「はい」が 57.8%、「いいえ」が 41.1%となっています。
【性・年齢】
○ 「はい」は男性 前期高齢者が 51.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
【圏域】
○ 「はい」は西部が 52.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【定期的な歯科受診の有無】



●問 10(9) 歯科受診をしていない場合、その理由は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 歯科受診をしない理由について、「必要ない」が 37.8%で最も多く、次いで「通院期間が長引く」が 20.2%、「その他」が 18.4%となっています。

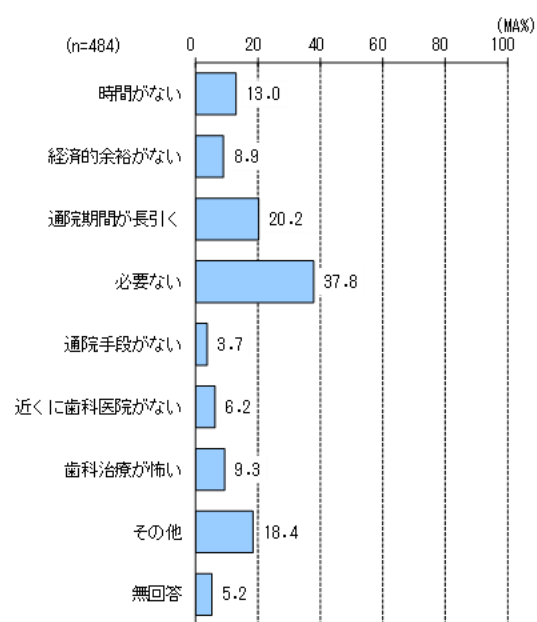
【性・年齢】

○ 「通院期間が長引く」は女性 前期高齢者が 31.6%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「必要ない」は男性 後期高齢者が 50.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【圏域】

○ 「通院期間が長引く」は美都が 8.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「近くに歯科医院がない」は匹見が 15.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【歯科受診をしない理由】



単位：%

		母数 (n)	時間がない	経済的余裕がない	通院期間が長引く	必要ない	通院手段がない	近くに歯科医院がない	歯科治療が怖い	その他	無回答
全体		484	13.0	8.9	20.2	37.8	3.7	6.2	9.3	18.4	5.2
性・年齢	男性 前期高齢者	121	△ 25.6	10.7	20.7	33.9	1.7	4.1	6.6	17.4	3.3
	後期高齢者	130	6.9	6.2	16.2	△ 50.8	3.1	6.2	5.4	13.8	7.7
	女性 前期高齢者	95	14.7	17.9	△ 31.6	▼ 24.2	-	6.3	18.9	20.0	1.1
	後期高齢者	138	6.5	3.6	15.9	38.4	8.7	8.0	8.7	22.5	7.2
家族構成	1人暮らし	117	6.8	15.4	16.2	35.0	8.5	7.7	11.1	21.4	6.0
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	193	14.0	7.3	20.7	40.4	0.5	4.1	9.8	15.0	5.7
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	22	22.7	13.6	27.3	36.4	4.5	-	4.5	27.3	9.1
	息子・娘との2世帯	57	14.0	7.0	19.3	36.8	5.3	10.5	8.8	19.3	5.3
	その他	74	17.6	4.1	24.3	36.5	2.7	5.4	6.8	17.6	2.7
圏域	中部	113	10.6	5.3	19.5	31.0	2.7	2.7	10.6	25.7	5.3
	東部	133	11.3	9.8	24.8	42.1	4.5	5.3	9.0	11.3	4.5
	西部	133	17.3	10.5	20.3	36.8	1.5	7.5	9.8	20.3	5.3
	美都	46	8.7	8.7	▼ 8.7	41.3	8.7	2.2	10.9	17.4	4.3
	匹見	59	15.3	10.2	20.3	40.7	5.1	15.3	5.1	16.9	6.8